

ゴケグモにご注意！

セアカゴケグモ・ハイロゴケグモが横浜市内でも発見されています

セアカゴケグモ・ハイロゴケグモは、基本的に攻撃性はありませんが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物※に指定されています。

貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に付着して運ばれた結果、生息が拡大したと考えられ、既に国内の37都道府県で確認されています（平成27年9月現在）。

横浜市でも、港湾地域を中心に確認されています。

ゴケグモを見つけたら・・・？

絶対に素手で触らないこと！

駆除をする場合には、靴で踏み潰すか、殺虫剤（ピレスロイド系）を使用すること！



セアカゴケグモ（メス）

原産地：オーストラリア

成熟したメスは全体的が光沢のある黒色で、腹部背面によく目立つ赤色の模様。

体長は約10mm程度で、脚を広げると約30mm程度。



ハイロゴケグモ（左：メス背面、右：メス腹面）

原産地：亜熱帯地域

色彩はさまざまで、腹部背面が真黒のものや、茶色や灰色を基調とするものなど、変異が多い。腹面に赤色の斑紋がある。

体長は約10mm程度で、脚を広げると約30mm程度。

<特徴>

- 毒を持っているのはメスだけです。
- ゴケグモには攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります。

<生息場所>

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物のあらゆる窪みや穴、裏側、隙間に営巣します。（例：プランターの底、室外機の裏、ベンチの裏など）。

屋外での作業時には咬まれないように軍手などを着用しましょう

もし咬まれてしまったら・・・？

咬まれたときは、**速やかに温水や石けん水で傷口を洗い救急外来等にご相談ください。**より適切な治療のため、できるだけ殺虫剤等で殺したクモを持参するのが望ましいです。

咬まれると、針で刺されたような痛みがあり、咬まれた箇所に熱感を感じたり、紅斑を伴ったりすることが多いです。手や足を咬まれた場合でも胸部、腹部や全身に強い痛みを生じたり、けいれんを起こすこともあります。稀に重症化し呼吸障害などを伴うことがあります。

これまで、国内での死亡例はありません。

ゴケグモ以外にも！

屋外活動時には、有害な虫に気を付けましょう

ハイキングなどの野外活動の際には、スズメバチ・蚊・マダニなどの虫に気を付けて、自然を楽しみましょう。

- ・遊歩道以外の道や、立入禁止の看板がある場所には踏み込まないようにしましょう。
- ・長袖、長ズボンを着用し、虫除け剤を使用しましょう（虫除け剤が効かない虫もいます）。
- ・香水などの香りの強い化粧品は控えましょう。
- ・黒色や暗色の服はできるだけ避けましょう。
- ・地面に直接腰を下ろしたりせず、シートを使用しましょう。



※特定外来生物とは？

外来生物法では、外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害防止を目的に、特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。詳しくは環境省ホームページをご覧ください。

■環境省「日本の外来種対策」URL

<https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

ゴケグモを発見した場合には、お住まいの福祉保健センターまでご連絡ください

◆各区福祉保健センター生活衛生課 連絡先◆

区	電話番号	区	電話番号	区	電話番号
鶴見	510-1845	保土ヶ谷	334-6363	青葉	978-2465
神奈川	411-7143	旭	954-6168	都筑	948-2358
西	320-8444	磯子	750-2452	戸塚	866-8476
中	224-8339	金沢	788-7873	栄	894-6967
南	341-1192	港北	540-2373	泉	800-2451
港南	847-8445	緑	930-2368	瀬谷	367-5751

編集・発行：横浜市 健康福祉局 生活衛生課 TEL：045-671-2456